

教育目標：1、医療チームの中で看護の役割と責任を自覚し、行動できる看護師を育成する。
 2、専門職業人として実践能力を高め、根拠に基づいた看護が提供できるよう育成する。
 3、お互いを尊重し合い、思いやりのある人材を育成する。

対象	月	研修項目	研修目標	共育委員 担当 (担当師長)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	レベル別 習得すべきEラーニング項目
レベルⅠ		新人看護職員卒後臨床研修	新人看護職員が安心して安全な看護ケアを提供するための臨床実践能力を修得する。	新人研修管理委員会	別紙												基礎習得コース
レベルⅡ		<ニーズを捉える力> 看護過程	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自ら捉えることができる			5/31 講義・GW						事例報告					□入院退院支援のプロセス多職種連携
		<協働する力> チームで協働	看護の展開に必要な関係者を特定し情報交換ができる。				6/13 講義						部署 発表				
		<意思決定を支える力> 意思決定支援	患者や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる			5/23 ①講義				9/20 ②講義				1/10 発表			
レベルⅢ		<チームで協働する力> 地域を見る視点	患者やその関係者、多職種と連携できる				6/14 講義						12/13 発表				□心不全患者における看護計画と緩和ケア □急性心筋梗塞・狭心症の最新ケア
		<ニーズを捉える力> 呼吸器のフィジカルアセスメント	患者や状況(場)の特性をふまえたニーズを捉える。			5/24 講義							12/19 発表				
		<ニーズを捉える力> 循環器のフィジカルアセスメント					6/21・28 ①講義	7/4 ①講義					12/16 ①発表	1/8・15 ①発表			
全体		<意思決定を支える力> 看取り	患者や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる			5/30 講義		7/9 講義		9/27 講義				1/31 発表			□アドバンス・ケア・プランニング(ACP)のコツ
役割研修		プリセプターシップ	実地指導者の役割を理解し、指導を通して新人看護師と共に成長できる。	下妻 ()			26日 GW			25日 GW					27日 1年間の振り返り	4日 次年度導入研修	
		業務リーダー	業務リーダーの経験を通しての気づきや困っていることについて共有し、業務に活かせる。					7/30 講義				11/22 中間発表			2/21 発表		
自己教育		看護研究Ⅰ	看護の質を向上するために研究結果を活用することができる。					7/31 講義			GW			まとめ			